



ガバナー月信  
3月号QRコード

例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 2 1  
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内  
☎026(235)2800 FAX026(235)0016  
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦  
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1694回例会 2024年（令和6年）3月8日（金）

世界に希望を生み出そう  
CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長



私が唯一「ミスター」と呼ば  
せた男

ミスター長嶋茂雄さんは、  
1958（昭和33）年、読売巨人軍  
に入団、その頃は「ドラフト制  
度」が無かったので、球団と選  
手サイドとの話し合いで、決定

していました。

契約は前年12月7日、契約金は1800万円でした。  
現在に換算すると、約4億円位だそうです。当  
時は1万円札が、発行前だったので、千円札が、  
18,000枚積み上げられたのかもしれませんが、小切  
手の可能性も。

ミスターは下宿先を「川上哲治選手」宅の近く  
を紹介され、後樂園球場の往復を、川上選手の運  
転でした。その年限りで、引退を考えていた川上  
選手は、ミスターを、自分の後継者と考えていた  
のでしょうか。

オープン戦の成績は、19試合で12球団一の7本  
塁打でした。

いよいよ迎えた開幕戦、4月5日午後1時半プ  
レーボール、国鉄戦、マウンド上では、エースの  
金田正一さん、結果はご存知の通り、四打数四三  
振、その後4試合で、16打数1安打の不振でした  
が、6試合目の大洋戦で、権藤正利さんから、プ  
ロ第一号ホームランを打ち、初シーズンは、本塁  
打王29本、打点王92点。因みに37盗塁でした。

そんな華々しいデビューを飾ったミスターも、  
17年間の現役生活を終え、引退する事になりまし  
た。17年間の現役生活では「MVP」5回「首位  
打者」6回「本塁打王」2回「打点王」4回とい  
う素晴らしい成績を残されました

1974（昭和49）年10月14日、場所は、今は亡き  
「後樂園球場」引退セレモニーの時、あの有名な「私  
は本日引退しますが、我が巨人軍は、永久に不滅  
です」の、言葉を残されました。

幹事報告

西沢 徹幹事



・明日9日臨時会長会がオンラ  
インにて開催されます。若麻  
績会長出席予定です。

・来週14日木曜日は、18時より  
幸先にて邱さんの卒業を祝う  
会を開催致します。ご回答が

まだの方は、宜しくお願い致します。

- ・4月12日は、職場例会となります。今年度は、  
十日町竹所を訪問の予定です。十日町ロータリー  
クラブに所属されていますカールベクスさん  
が手掛けたシェアハウスを含む10件の集落「古  
民家再生の里」を訪問し、古民家カフェにて昼  
食をいただきます。後日ご案内をお送りしま  
すがご予約に入れておいて下さい。

邱文萃米山奨学生奨学金・卒業祝い贈呈



皆様2年間お世話になりました。日本に来て2  
目で、ロータリークラブにお世話になりました。  
最初は、すごく緊張していてロータリーは、怖い  
存在のイメージがありましたが、皆さんがとても  
優しく、いつも暖かく見守っていただきまし  
た。4月からは、川中島のドン・キホーテに勤め  
ます。いつでも遊びに来てください。

ありがとうございました。

ゲスト：林 映寿さん (浄光寺副住職)

：邱文莘米山奨学生



・若麻績信昭さん☆1.林さんようこそ。2.先日おギリを持って「デイン・タイ・フォン」に行きました。  
・青木 宏さん・西沢 徹さん  
・村田秀雄さん・太田裕志さん

・中島 勉さん☆林さんようこそ。今日はよろしくお願ひします。邱文莘さん最後の例会淋しいです。

・合計 12,000円 ・累計 424,372円

講師紹介 太田裕志プログラム委員長

林さんは、小布施にあります浄光寺副住職です。

ご存知の方も多いかと思いますが、各メディアでも沢山取り上げられておりますスラックラインの競技の普及に非常に熱心に取り組まれ、現在では、小布施がスラックラインの聖地と言われるくらいになっており、プロの選手も輩出されているそうです。実は、林さんとは初対面です。何故お越し頂けたかと申しますと、林さんの奥様が当社の社員のお姉さまで、義理の弟にあたるということをお願いしました。一方で、各災害の支援にあたり、先日も能登半島地震も3日から現地に入られ災害の復興にご尽力されていらっしゃるそうです。本日は、そういった想いや行動力といったところを是非お聞かせいただきたいと思ひます。

3 / 15 本日のプログラム

ゲスト卓話 池田良一さん  
(元長野県鍼灸師会会長)  
「春の叙勲の感激」

例会案内

3月22日 休会  
3月29日 休会  
4月5日 観望会 於：幸先 18:30~  
4月12日 職場例会 十日町竹所  
4月19日 一般例会

ゲスト卓話 林 映寿さん

「平時を楽しみ有事に備える」



本日の演題とロータリーの歌「笑顔に包まれた楽しい」というフレーズがシンクロしています。私共のお寺は人が集る楽しいお寺を目指そうということで、国の重要文化財に指定されております薬師堂がござひます。1408年に建立をされ室町時代初期から600年以上のこの善光寺平では一番古い木造の建物です。ただ、私の親父の代から檀家さんをとりはじめた経緯で、私の祖父は高校の教員をしながらでしたので、善光寺さんのように沢山の方が集う寺ではありませんでしたので、運営が難しいという状況の中、お寺に行くきっかけがなかなか無い中、色々な年代の方がお寺に集うきっかけ作り、寺子屋の活動「筆遊び」であったり、真言宗の瞑想「阿字観」など、堂の中では静的な五感体験、外では、今の子供たちはスマホなど外で遊ぶ機会があまり無い中で、10年前に発祥しましたスラックラインで子供達や地域の皆様が集う環境を作り始めました。わずか3年で世界チャンピオンに輝いた少年もいます。私も挑戦しましたが、年齢的に子供達になかなか敵わない。ただ、小布施から世界に挑戦をしようとしている子供達がいるのであれば何か私も世界に挑戦してみたいと考えました。アジアで初めてスラックラインのワールドカップを小布施町で開催したいと思ひました。沢山の方に「前例がない。」と言われましたが、私「前例がない。」と言われますと、ワクワクし

かないんです。

2017年にアジアで初めてそして1年空いて再び2019年に、小布施町のハイウェイオアシスで世界大会を開催しました。このような経緯から選手の育成、大会の開催の形でスラックラインの聖地として認めていただけるようになりました。

ただ2019年9月、この1か月後ござひます台風19号で千曲川が決壊しました。小布施町も対岸ではありますが越水により小布施スマートインター周辺、大会会場も水没しました。大会を支えて頂いた地域や農家、150を上回るスポンサーの皆様が被災をされました。今度は我々が恩返しをすることが本来の姿であるべきで、スコップを持って一般家屋や農地へ向かいました。ただ、この5年前の水害は東京ドーム185個分の土砂が堆積したと言われてひます。人間の力の限界を感じました。そこで重機を一般の素人でも扱えるようにならなければ、災害大国日本を救っていくことができないのではないかと考えました。そこで、自然災害の現場で本当に役に立つものを集約し、楽しく体験・技能取得できるnuovoを設立しました。nuovoは、「農業」+「防災」=「農防」イタリア語で「新しい」を意味する語に21世紀の新アミューズメントとの思ひも込めました。まさしく本日のタイトルであります平時を楽しんでいたら、偶然有事に備わってしまったということです。